

日野資純 著

『日本語のキーワード』

(東宛社)

「後」という漢字には、「あと」、「のち」などの訓があります。二つの読み方は普段何気なしに使われていますが、意味の違いを考えたことはあるでしょうか。

本書では、漢字の読みや、「やる」、「する」といった同意と思われる言葉のニュアンスの違いなどが、実例を使って分析されています。日常的に使っている言葉の意味の微妙な違いを知ることができ、お勧めの一冊です。 814-Hin (S.I.)



ルイ・カストロ 著 国安真奈 訳

『ボサノヴァの歴史』

(音楽之友社)

本書は「都会の音楽ボサノヴァ」への著者の思い入れを根底に書かれたものです。邦訳は1992年に初版が出版され、本書は復刊です。

プロローグには、ジョアン・ジルベルトの幼年時代を描き、一貫して彼とボサノヴァをめぐる人々を、多くの写真を交えて記録しています。

時代は変わっても、音楽は残る。(訳者のあとがきより) 皆さんも数曲はご存じのブラジル音楽の歴史をもっと調べてみませんか。

764.7-Cas (S.O.)

和久井光司 著

『ビートルズ』

(講談社)

そのものズバリの書名です。解散から三十年以上経過するのに、今もこれほど世界中で愛されているグループは他にないと言ってもいいでしょう。では、なぜこれほど人を惹き付けるのでしょうか。本書では音楽家である著者が音楽的側面は勿論のこと、社会的、文化的な側面からも豊富なデータに基づいて検証しています。ビートルズ・ファン必読書です。 764.7-Wak (T.F.)

小田空 著

『中国いかがですか?』

(集英社)

古来より日本は中国から漢字を始め多くの物事を学んできました。しかし現代の中国に対する情報は、大きな中国大陸のごく一部分にしかすぎません。

本書は、著者が実際に中国を旅して、体験した記録を、漫画家である著者が、漫画とエッセイで中国人と自転車の関係や本場の中華料理など分かり易く紹介されていますので、中国に興味のある方など一読をお勧めします。

302.22-Oda (N.I.)

